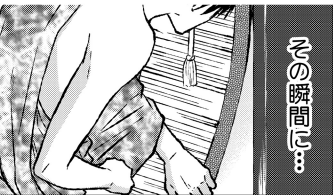


笹木ささ



# 隠密姫

～信長と光秀に愛された乙女～



その瞬間に…



敵を殺る  
手ヤンスは入口を  
開ける瞬間…



簾ごと

刺し貫いて  
やる……!!



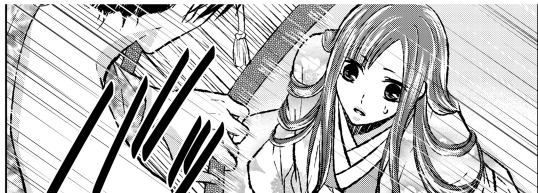
手応えは  
あつた！

殺った…!?

!

!!

!!!



お前が  
濃姫か

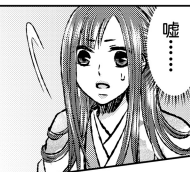


なかなか  
野蛮な女だな



信長様  
お待ち下さい！

御勝手な  
行動は…



嘘……

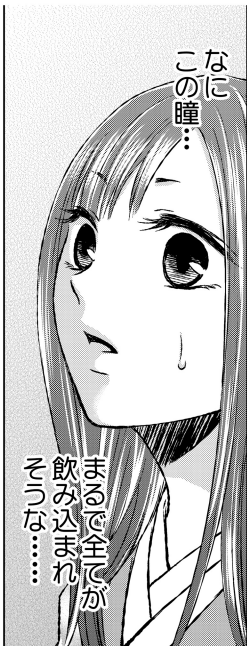


え……？

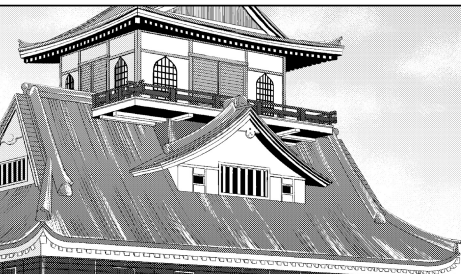


まさか  
この男が…

まるで全てが  
飲み込まれ  
そうな……




なに  
この瞳……




織田信長……!?






先程は驚かせて  
すまなかつた



一刻も早く  
花嫁の顔が  
見たくてな

織田家当主

おだ のぶなが  
**織田 信長**



驚いたなんて  
ものじゃない…




それに  
しても…



誰が想像  
できるのよ


あんなところ  
織田信長が  
いるなんて



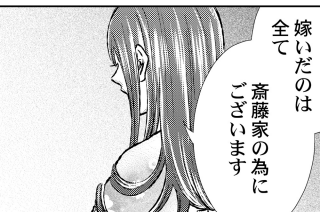
実の花嫁に  
殺されそうに  
なるとはな…

これを  
見ろ

腰から吊るしていた  
こいつが無ければ  
只事では済まな  
かったぞ



まあ「うつけ者」と  
呼ばれている俺に  
嫁ぐくらいは女だ




嫁いだのは  
全て

斎藤家の為に  
ございます

家の為？

初めから普通の女が  
来るとは思っ  
ていなかったがな



それなら自分は  
何をされても  
構わないのか？

それが戦国の世に  
生きる女の務めで  
ございます

価値があれば使われ  
価値が無ければ  
捨てられる

貴方も  
そうなのでしょう？

所詮しよせん 殿方は女を  
策略の道具としてしか  
見ておりませんので

信長様？

ふふっ

ははははっ

なるほど  
強気な奴だ

そうでなくちゃ  
面白くない

いいだろう

ほら  
俺に接吻して  
みせろ

お前の女の  
務めとやら

見せてもらおう  
じゃないか

今ハハで



敵の懐に入り込み  
腹の内を探れ



なっ…

そんな  
はしたないこと  
できるわけ…

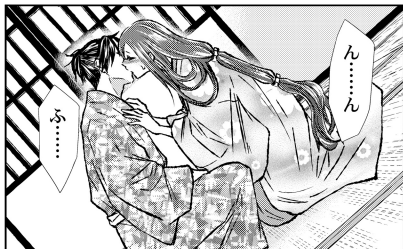


そうだ  
私は…

私の  
使命は…



ん…



ん…ん

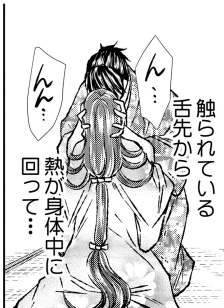
ふ…



…わかりました  
やります

やります  
から…





熱が身体中に  
回って...

触られている  
舌先から



なにこれ...

ん...ふっ...



全で溶かされて  
しまいそう...

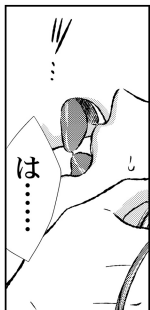


どうだ？

本物の接吻の  
味は？

はま

はま



は...



